

日本バレエの創成期を語る－日本におけるバレエ教育の成立と変遷

現在、昭和音楽大学舞台芸術センター バレエ研究所では、舞踊評論家・山野博大氏から舞踊公演プログラム・コレクションの寄贈を受け、「バレエ総合データベース（仮）」を構築すべく、情報の整理、研究を始めています。それと並行して、バレエ教育の初期の系譜を追いながら、日本バレエの創成期を担われた方々からお話を伺うことで、日本バレエ教育史を実証的に記録、検証するためのシリーズ公開講座を開催します。第1回、第2回は、当バレエ研究所のアドバイザーでもある、牧阿佐美さん、石井清子さんを講師として招聘し、バレエ教育に関してご自身の経験を語っていただきます。この後も継続して公開講座を開催しますので、奮ってご参加ください。（入場無料、予約不要。但し、定員を越えた場合はお断りすることがございます）

《 第1回 》 2011年9月27日（火）18：00～20：00

会場 昭和音楽大学 北校舎5階 ラ・サーラ・スカラ（小田急線 新百合ヶ丘駅北口 徒歩1分）

講師 牧阿佐美 Maki Asami（新国立劇場バレエ研修所所長）



略歴：4歳で初舞台を踏む。1954年、米国に一年間留学し、世界的バレリーナ、アレクサンドラ・ダニロワに師事。1956年、橘秋子とともに牧阿佐美バレエ団を設立し、数多くの作品で主演。1971年に舞台を退き、牧阿佐美バレエ団主宰者、橘バレエ学校校長に就任。1979年にAMスチューデントズを発足。1999年7月～2010年8月、新国立劇場舞踊芸術監督。多くの舞踊賞を受賞し、平成20年度文化功労者に選ばれた。

《 第2回 》 2011年10月11日（火）18：00～20：00

会場 昭和音楽大学 北校舎5階 ラ・サーラ・スカラ（小田急線 新百合ヶ丘駅北口 徒歩1分）

講師 石井清子 Kiyoko Ishii（東京シティ・バレエ団評議員）



略歴：数え年6歳から舞踊を始め、児童舞踊、モダン・ダンス等を経て、谷桃子バレエ団設立と同時に入団し、ソリスト、プリマバレリーナとして公演活動に参加。1968年 東京シティ・バレエ団設立と同時に参加し、創作活動を始め、これまで50作品以上の振付を手掛けている。江東区に根付かせた「くるみ割り人形」は連続上演26回を迎え定着。2003年 江東区文化・スポーツ功労章受賞。多くの舞踊賞を受賞している。

【主催・お問い合わせ】

昭和音楽大学舞台芸術センターバレエ研究所(所長 小山久美) 〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 1-16-6

TEL: 044-953-9880 E-mail: ballet@tosei-showa-music.ac.jp

(昭和音楽大学北校舎内)